

調査特別委員会

議員のなり手不足調査特別委員会

委員長 川名 静子

令和6年12月定例会において標記の特別委員会を設置し11回開催してきた。本町はこれまで選挙にはなっているものの、「定数+1」の状況だ。この状況が続けば無競争・定数割れになる可能性が高くなると危惧し、次期改選までには一人でも多くの方が議員に挑戦したいと思える環境を整えていこうと、議員間で議論を交わしている。

全国町村議会議長会がまとめた「町村議会議員のなり手不足に潜む3つの危機」と題した冊子を参考に本議会の現状と課題を次の3項目について、各議員の考えを提出、原因と必要な対策等意見交換をしながら調査項目を絞り込んでいる途上だ。

1. 議会の魅力・議員のやりがい等
2. 議会を取り巻く環境・議員の待遇等
3. 立候補、選挙について

なり手不足は議会の意思決定・政策立案・行政監視等の各機能に影響を及ぼし、議会の存在意義、二元代表制の趣旨が損なわれるばかりか、地方自治の弱体化を招くと言われます。今後、アンケート等を通して皆さまの考え方をお聴かせて頂きたいと思います。



令和7年度 町村議会議員研修会 報告

日時 令和7年10月20日(月) 午後1時

場所 郡山市 ビッグパレットふくしま



江藤俊昭 教授

はじめに、「地方議会・議員の役割と議会改革の必要性－『住民自治の根幹』としての議会の作動－」と題し、大正大学地域創生学部公共政策学科教授・江藤俊昭先生より講演が行われた。

地方議会改革が進む一方で、投票率低下や議員のなり手不足など政治の劣化が進行していると指摘した。今後の議会は、住民とともに歩む開かれた議会、質問だけでなく議員間討議を重視する議会、首長と政策競争できる議会へ転換する必要があると強調した。改善点として、一般質問で総合計画など出典を明示し論点を深めること、政策・提言・福祉向上の各サ



コンベンションホール会場

イクルを確立し議会機能を高めることが示された。最後に教授は「民主主義は市民の希望と参加で決まる」と述べた。



田崎史郎 氏

続いて、政治ジャーナリスト田崎史郎氏は、「今後の政局・政治展望」として、現在の政権運営や政治家の評価について解説した。高市首相については、石破氏より強固な政治体制を持ち、調整力のあるスタッフに支えられている一方、重要事項を独断で進める傾向が不安材料と指摘した。また、田崎氏が優れた政治家として挙げたのは田中角栄氏と安倍晋三氏で、田中氏の人間的魅力や真剣さ、安倍氏の圧倒的な存在感が印象深いと述べた。特に安倍氏は影響力のある人物に直接働きかけ、「高市さんに投票してほしい」と説得するなど、強い求心力を持つ政治家だったと紹介した。

委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 斎藤謙

「物価上昇に見合う年金引き上げを求める陳情書」に関して、去る12月3日各委員慎重に協議した結果、採択1名、不採択3名で、この案件は審査の結果、不採択とすべきものと決した。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤武朗

本委員会は、閉会中の調査事件として、伊達桑折IC周辺の農地利用における町農産物の知名度向上と交流人口拡大に関する調査を進めている。10月21日に今後の調査を進めるにあたり、産業振興課長から当該エリアに関しての、農地法に関する現状、地域計画の進捗状況、地域の面積耕作状況等について説明を受け質疑を実施。また、11月18日には、委員会の視察日程等の協議を行い、令和8年1月29日に茨城

県常総市の「アグリサイエンスバレー常総」整備事業を視察することとした。調査事件以外に緊急を要するため11月6日に産業振興課に熊対策の現状について説明を求めた。内容については、熊の出没状況と住民への影響、熊対策の現状と課題、情報共有と連絡体制、捕獲・駆除の実態、今後の対応と住民協力等について説明を受け質疑を行った。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢正保

当委員会は、議会だより編集会議を定期開催し、142秋号・143新年冬号を発行してきた。なお、新年・冬号より、次の構成員による新体制で、任期1年の編集会議を実施。

編集委員長 半沢正保
副委員長 石幡政子
委員 佐藤武朗
委員 斎藤謙

「令和7年度第2回議会報告・意見交換会」を各地区公民館において、4日間にわたり開催してきた。数多くの貴重なご意見・ご要望等をいただき、大変有意義な会となった。また、電話やメールにて問い合わせやアドバイスをいただいた。より開かれた信頼される議会となるよう、今後の会の運営等について改善していく。(詳細については、p24~p27までを参照)

議会運営委員会

委員長 半澤高

議会運営委員会では現在、次の2点に関して調査・協議中である。①「桑折町議会ハラスマント防止条例」を3月定例議会での制定に向けて策定中。これは、9月定例議会の総括の際に早急に条例制定するべきであるとのことから取り上げられ調査中であるもの。当初まずハラスマントを抑止したいとの考えから12月定例議会で制定するべきであるとの意見もあったが、

細部の検討が必要であるため3月定例議会での上程予定となったもの。②議会基本条例第20条に基づく検証について「検証用のチェックシート」を用いて各議員にチェックしてもらった。このチェックシートは宮城県白石市議会や柴田町議会などで実際に議会基本条例の検証に使用されているものを参考にした。現在取りまとめ中である。



議会活動状況報告

◀詳細はこちらから

令和7年9月19日～令和7年12月9日

月 日	活 動 状 況	対象者
R 7. 9. 28	【町制施行70周年記念事業】奥州こおり宿樂市楽座 in 山車フェス	議長外
R 7. 10. 7	議会全員協議会	全議員
R 7. 10. 18	各地区小学校学習発表会	議長、地区議員
R 7. 10. 19	桑折町消防団秋季検閲	議長外
R 7. 10. 20	[福島県町村議会議長会] 町村議会議員研修会	全議員
R 7. 10. 25	醸中祭	議長外
R 7. 11. 1	第50回桑折町文化祭総合開会式、総合展示会	議長外
R 7. 11. 1	第50回桑折町文化祭総合展示会、芸能・ダンス発表会	議長外
R 7. 11. 4	議会報告・意見交換会	全議員
R 7. 11. 5	議会報告・意見交換会	全議員
R 7. 11. 6	議会報告・意見交換会	全議員
R 7. 11. 7	議会報告・意見交換会	全議員
R 7. 11. 10	桑折町表彰式	議長外
R 7. 11. 16	第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	議長外
R 7. 11. 18	議会全員協議会	全議員
R 7. 12. 3	議会全員協議会	全議員
R 7. 12. 3	令和7年第6回桑折町議会定例会	全議員
R 7. 12. 4	議会全員協議会	全議員
R 7. 12. 4	令和7年第6回桑折町議会定例会	全議員
R 7. 12. 5	議会全員協議会	全議員
R 7. 12. 5	令和7年第6回桑折町議会定例会	全議員
R 7. 12. 8	議会全員協議会	全議員
R 7. 12. 8	令和7年第6回桑折町議会定例会	全議員
R 7. 12. 9	議会全員協議会	全議員

議員発議意見書

議員発議意見書

桑折町における義務教育学校の早期実現を求める意見書

本町では少子化・人口減少が急速に進む中、児童生徒数の減少、単級化の拡大、教職員確保の困難、学校施設の老朽化など、義務教育を取り巻く環境は大きな転換期を迎えており。現行の学校配置を維持し続けることは、教育の質、財政負担、将来世代への持続可能性のいずれの面から見ても極めて困難である。

本町の小学校4校は、明治6年の創立以来、150年近くにわたり地域文化と子どもたちの成長を支えてきた歴史ある学び舎であり、多くの町民にとって思い出と誇りが詰まった存在である。

それゆえ、統合により学校が廃校となることに複雑な思いや寂しさを感じる住民がいることは、議会として深く理解するものである。

しかしながら、次世代の子どもたちに今以上の教育環境を保障するためには、現実の課題を直視し、将来を見据えた新たな学校の姿をつくり上げる必要がある。特に、町内5校を統合し義務教育学校を設置することは、9年間の学びの連続性や教育内容の高度化を実現するうえで最も効果的な方策である。

また、地域と学校がともに子どもを育てる仕組みとして、コミュニティ・スクール（CS）の導入を併せて行うことで、歴史ある各校が育んできた地域の学びの文化を新しい学校にしっかりと継承することが可能となる。

よって、桑折町議会は町に対し、次の事項を強く求める。

記

1. 小学校4校が積み重ねてきた歴史への敬意を十分払いつつ、教育の質や町全体の持続可能性を確保するため、町内小中5校を統合した義務教育学校の設置を早期実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和7年12月9日

桑折町議会議長 原 賢志

桑折町長 高橋宣博様